

平成22年7月豪雨における県管理ダムの洪水調節について

- 日本海側に停滞していた梅雨前線が南下し、中国地方に停滞したため、7月13日早朝から14日昼頃にかけて、広島県内のほぼ全域に渡り豪雨に見舞われました。
- このため、県内の各ダムにおいて、洪水調節を行い、下流域の洪水被害の軽減を図りました。

【洪水調節実績】

ダム名	所在 市町	水系名	総雨量 (mm)	時間 最大 (mm)	最 大 流入量 (m ³ /s)	最大流入時の		調節 総量 ※1 (千 m ³)	低減水位 ※2	
						放流量 (m ³ /s)	カット量 (m ³ /s)		(cm)	基準地点
小瀬川	廿日市市	小瀬川	258	28	329.6	212.3	117.3	1,337	53	釜ヶ原観測所 (岩国市美和町)
魚切	広島市 佐伯区	八幡川	267	34	82.0	59.3	22.7	171	4	中地観測所 (広島市佐伯区)
梶毛	広島市 佐伯区	八幡川	371	29	15.6	2.4	13.2	97	14	高井観測所 (広島市佐伯区)
野呂川	呉市	野呂川	307	57	113.5	29.7	83.8	745	83	中畑川合流地点 (呉市安浦町)
福富	東広島市	沼田川	232	39	239.6	58.4	181.2	1,860	70	船木観測所 (三原市本郷町)
棕梨	東広島市	沼田川	190	24	341.6	236.0	105.6	753		
御調	尾道市	芦田川	79	23	112.2	60.7	51.5	490	37	市観測所 (尾道市御調町)
山田川	世羅町	芦田川	190	24	11.4	4.9	6.5	94	12	伊尾観測所 (世羅町)
四川	福山市	芦田川	132	23	17.5	8.8	8.7	165	21	沼観測所 (福山市御幸町)

※1 調節総量は流入量が洪水量を超えた時から下回った時までの流入総量と放流総量の差

※2 低減水位は各ダムの治水基準点でのダム無し推定水位から実績水位を引いたもの

【効果】

- このため、県管理の9ダムは、**約570万m³ (25mプール約2万5千杯)** 洪水調節を行い、下流域の洪水被害を軽減しました。とりわけ野呂川ダムにおいては、下流河川の水位上昇を約83cm低減し、約1.2ha (約30戸) の浸水被害を防いだと考えられます。